

# 丹後半島北西部の遺跡



2010.1

京都府立丹後郷土資料館



**離湖古墳の長持形石棺**  
離湖の中に半島状にせり出す丘陵の頂部にある古墳時代中期の方墳。墳頂部から王者の棺と呼ばれる雄大な長持形石棺が発見された。現在石棺は、覆屋で保護されて現地で見学されている。



**大成8号墳の横穴式石室**  
大成古墳群は日本海に臨む台地上を占める、円墳16基からなる古墳後期の群集墳である。ここでは発掘調査された7・8・9号墳の横穴式石室が公園として整備され、公開されている。



竹野川河口部に屹立する立岩  
高さ約20m、玄武岩の柱状節理が美しい。



北から見た史跡神明山古墳  
全長約190m、日本海沿岸諸地域第2位の規模を誇る巨大前方後円墳。築造年代は4世紀後半代。古墳の直下にはかつては潟湖が広がっていた。

南から見た史跡網野銚子山古墳  
全長約200m、京都府はもとより日本海沿岸諸地域最大規模を誇る。日本海に側面を見せるように設計された巨大前方後円墳である。古墳時代前期、4世紀後半代頃に丹波全域(現在の南丹・中丹・丹後・兵庫丹波)の支配権を握った王の墓と考えられている。



西から見た網野銚子山古墳  
現在は、民家が建て込んでいるが、古墳築造の当時は入り江となっていて、葺石や埴輪などの資材は水運を利用して古墳の直下まで運搬された。



浅後谷南墳墓の埋葬施設  
福田川流域に成立した初代の弥生王墓。舟形木棺に剣・玉を副葬する。弥生時代後期。



浅後谷南遺跡の導水施設  
木槽樋と呼ばれる長さ3.4mの割りものは圧巻。王宮へ浄水を導くための施設か。



移築された岡1号墳  
離湖と日本海との間の砂丘上にあつた古墳。排水路の開削に伴って発掘調査され、全長約11mの無袖式横穴式石室の中から金銅装環頭大刀、馬具、須恵器などの遺物が見いだされた。

南から見た黒部銚子山古墳  
丘陵の先端部を加工して築かれた全長105mの前方後円墳。古墳時代中期、5世紀前半代頃に竹野川下流域に君臨した王の墓とみられる。府指定史跡。



南から見た柵塚古墳  
海岸段丘上に築かれた一辺25mの埴輪を伴う方墳で、埴輪の特徴から5世紀前半代の築造と考えられている。



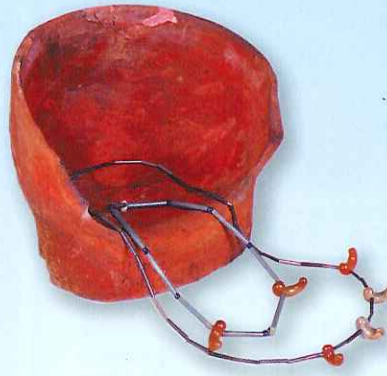
神明山古墳から見た竹野遺跡  
竹野遺跡は、竹野川河口部の右岸に形成された砂丘上を占める集落遺跡である。弥生前期以降中世に至る各時代の遺構・遺物が検出されている。



丹後古代の里資料館  
式内竹野神社の参道の横に建つ展示施設。実物資料やレプリカ・模型などを駆使して、京丹後市の歴史全般についてわかりやすく展示している。屋外には、竪穴式住居と高床式建物からなる古代集落が復元展示されている。



長持形石棺 史跡産土山古墳 5世紀  
産土山古墳は、径54mの段築・埴輪・葺石を伴う大円墳である。長持形石棺の中から、鏡・玉・短甲・埴製枕などの遺物が見いだされた。



埴製枕と玉類  
産土山古墳 5世紀  
京都大学総合博物館蔵



金銅装単鳳環頭大刀  
岡1号墳 6世紀  
京都大学文学部考古学研究室蔵



船と人物が線刻された埴輪片  
神明山古墳 4世紀



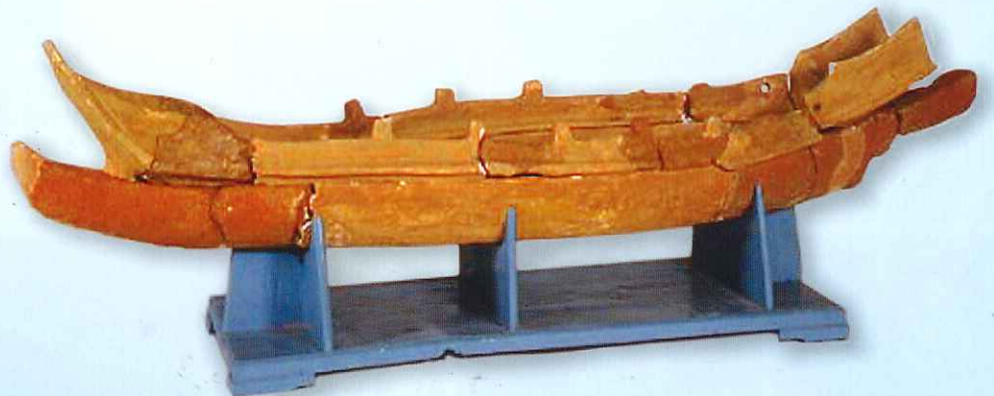
流水文が描かれた弥生土器・壺  
竹野遺跡 弥生時代前期



甲冑を装着した武人  
ニゴレ古墳 5世紀  
京都大学総合博物館蔵



木製の楯 浅後谷南遺跡 4世紀  
高さ1m、幅50cm。横木を樹皮で綴じ付けた精巧なつくりの楯である。浅後谷南遺跡が王権の本拠すなわち王宮の跡であることを窺わせる貴重な資料である。



船形埴輪 ニゴレ古墳 5世紀 京都大学総合博物館蔵

丹後遺跡めぐりシリーズ②  
丹後半島北西部の遺跡

平成22年1月31日発行  
編集・発行 京都府立丹後郷土資料館  
〒629-2234 京都府宮津市国分小字天王山611-1  
TEL0772-27-0230 FAX0772-27-0020